

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	システム・マネジメント特論		
英文授業科目名	Advanced Topics in Systems Management		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-システム工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	システム工学専攻		
担当教官名	石井 信明		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ishii@shonan.bunkyo.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>システム・マネジメントは、社会、企業の様々なシステムが、その目的を達成するために解決を要する問題を定義・管理し、解決すること。学際的な分野であるシステム工学科にとり、様々な問題に対してシステム思考により分析・合成をおこない、解決のポイントを明らかにした上で、エンジニアリングアプローチにより実際に解決する方法を考える能力を持つことが、他学科との差別化といえる。</p> <p>講義では、システム工学科の主な対象である企業システムを中心に、様々な具体的ケースを取り上げ、システムアプローチによる分析、合成、そして、解決手法を考える。</p> <p>多くの事例の検討を通して、システム工学科の基本となるシステムアプローチを身につけることを、達成目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
<p>教科書： 指定しない</p> <p>参考書：</p> <p>島田達巳、高原康彦、「経営情報システム 改訂版」、日科技連(2001).</p> <p>マーチン・クリストファー、「ロジスティクス・マネジメント戦略」、ピアソン・エデュケーション(2000).</p> <p>藤川裕晃、「多階層工場レイアウト入門」、工業調査会(2005).</p> <p>石井信明、玉川直明、西出昌史、「モノ作りの仕組み作り」、工業調査会(2004).</p>

J.ブラディ・E.モンク・B.ワグナー、「マネジメント入門」、トムソンラーニング(2002).

【授業内容とその進め方】

(a)授業内容

1. システム・マネジメントとは
2. システムアプローチ手法
3. 企業システムのマネジメント
 - (1)SCMとCRM
 - ・ SCMとCRMの概要と実際
 - ・ SCMの計画
 - (2)ロジスティクス
 - ・ ライフサイクル指向のマネジメント
 - ・ 物流システムの計画（演習を含む）
 - ・ 配送システムの計画
 - (3)工場システムの計画
 - ・ レイアウト計画（演習を含む）
 - ・ 能力計画
 - (4)プロジェクトマネジメント
 - ・ プロジェクトとは
 - ・ プロジェクト計画の手法（演習を含む）
4. 需給マネジメント（演習を含む）
 - (1)需給計画
 - (2)ビジネスプランと供給システム計画

(b)進め方

最新の事例を中心に、システム・マネジメントが実務でどのように活用されているかを説明する。演習課題に取り組むことで、各種システム手法の使い方を自ら考える。

演習課題について、講義で習得した手法等をどのように使い、問題解決に結び付けるかについて各自プレゼンテーションを行なう。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法

授業における議論への貢献度、演習（プレゼンテーション）への取り組み、レポートを総合的に評価

(b)評価基準

提出物が受理され、演習（プレゼンテーション）が済んでいること。

【オフィスアワー：授業相談】

質問、相談は、授業終了時間後に受け付ける。電子メールでも、随時受け付ける。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【学生へのメッセージ】

本講義では、実際の企業における最新のシステム・マネジメント事例を取り上げる。実際の事例に触れることで、企業の実務における各種システム手法の生きた利用方法について考えるとともに、修士論文などのテーマを考える機会としてほしい。

特に授業で取り上げてほしい事例があれば、事前に申し出ること。

【その他】